

2007 平成19年

ふいあい 放水路

1 月号 vol.154

Izumo Office of River Chugoku Regional Development Bureau



みことくん おろち

新年明けまして おめでとうございます

平成十九年の年頭にあたり、謹んで新年のお慶びを申し上げます。昨年は、斐伊川・神戸川流域において、昭和四十七年七月の豪雨災害から三十四年ぶりの大水害に見舞われました。特に、斐伊川下流部の松江市を中心とした浸水被害は、約千七百戸の家屋浸水や市街地の交通網の麻痺など甚大な被害が発生しました。

また、神戸川におきましても上流の出雲市所原・乙立・佐田町を中心に百戸を越える家屋浸水が発生し、残念なことに三名の方が尊い命を奪われるという痛ましい結果となりました。この度の水害は、その怖さと治水事業の必要性を、改めて地域の皆さまに認識していただくきっかけになったと考えております。

幸いに、斐伊川放水路事業区間におきましては、神戸川が昭和四十七年七月豪雨を上回る洪水量を記録したにもかかわらず、大きな浸水被害を防ぐことができました。その一番の理由は、神戸川の川幅を広げ新たな堤防が概ね完成し、堤防の決壊や越水を防げたことによるもので、地域の皆さまのご理解とご協力により放水路事業が順調に進んできた結果の現れだと思っております。

さて、斐伊川放水路事業におきましては、現在、築堤の約八割、掘削の約五割を完了し橋梁につきましては全部で二十五橋の新設・架け替えのうち、昨年三月には大井谷橋が十六番目の供用となりました。本年は、昨年に引き続き拡張部の神戸堰改築をはじめ、国道九号の神戸橋、JＲ神戸川橋梁の架け替えや、開削部においては、地盤改良、掘削等を重点的に実施して参ります。

今後、平成二十年代前半の事業完成を目指し、工事が最盛期を迎えて参ります。引き続き皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

国土交通省出雲河川事務所長

渡邊 茂

2006年(平成18年)

斐伊川放水路事業10大ニュース

みなさまのご協力のもと、斐伊川放水路事業は2006年も順調に進みました。今月号では、2006年を振り返り、斐伊川放水路事業にまつわる10大ニュースを紹介します。

平成18年7月豪雨発生

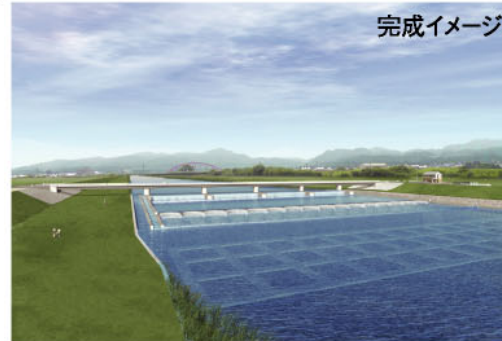
7月16日から18日まで降り続いた降雨により、斐伊川流域・神戸川流域をはじめとした島根県東部は、昭和47年7月豪雨以来、34年ぶりの大水害に見舞われました。出雲市馬木町地先から下流の斐伊川放水路事業区間においては、新たな堤防の築造、川幅の拡幅整備が進んでいたことから、甚大な浸水被害は受けませんでした。



馬木水位流量観測所付近 (平成18年7月19日 11:00頃)

神戸堰本体完成!

平成16年10月の工事開始から約2年が経過し、ついに本体が完成。新しい神戸堰の姿が少しずつわかるようになってきました。今後はゲートを取り付けたり、堰の上を通過する管理橋の建設を行います。



完成イメージ

植樹祭開催 植樹本数5万5000本を突破!

地域の皆様のご協力により行われてきた植樹祭。今年で6年目となりました。出雲の土地にあった樹種を植えることで、本物の森を作ろうという考えのもと、タブノキやアカガシなど20種類の樹木を植えました。植えた樹木は、7月の豪雨にも負けず、すくすくと育っています。



大井谷橋(おいだんばし)開通!

斐伊川放水路(開削部)に、半分大橋に続く開削部第2番目の橋が開通しました。地元関係者など多くの方が集まり、盛大に開通式が行われました。



下流部でワンド完成!

新崎屋橋下流右岸側の低水護岸が完成しました。この護岸は、ヨシなどの水際の植生を復元するために、浅瀬を広く設けています。



ワンド



アシとヨシは違う植物?

アシとヨシは同じ植物なんだ。池沼や河口などに群生する高さ2~3mの大型の多年性植物。茎は籐(すだれ)の原料としても使われるんだ。アシが「悪し」に通じるので、これを嫌い「ヨシ(良し)」とも呼ばれるようになったんだって!



神戸川が斐伊川水系へ編入(放水路、志津見ダムが国管理へ)

8月1日付けで、これまで二級河川だった神戸川水系の各河川が一級水系斐伊川に編入され、工事継続中の斐伊川放水路(開削部)とともに、一級河川となりました。



旧堤防の撤去工事、本格開始!

河口から順次、旧堤防の撤去工事がはじまりました。現在妙見橋下流まで、撤去が進んでいます。今後、工事は上流に向かって進む予定です。



旧堤防撤去前の様子



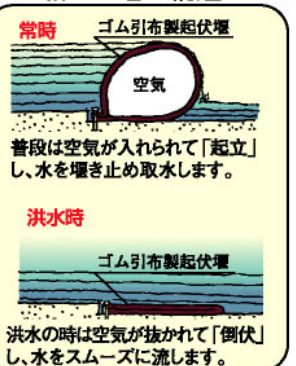
撤去中の様子

稗原川三番堰完成!

斐伊川放水路工事に伴い、稗原川の三番堰が改修されました。



新しい堰の構造



工事現場における人身事故無災害1000日達成!

斐伊川放水路事業では、平成18年5月8日に人身事故無災害1000日を達成しました。12月31日で1237日継続中です。

「ふれあい放水路」リニューアル!

広報誌「ふれあい放水路」も創刊から12年目を迎え、150号を達成することができました。この節目に、事業へのご理解とご協力をいっそう深める誌面づくりを目指してリニューアルをしました。

シリーズ

土木現場に行く



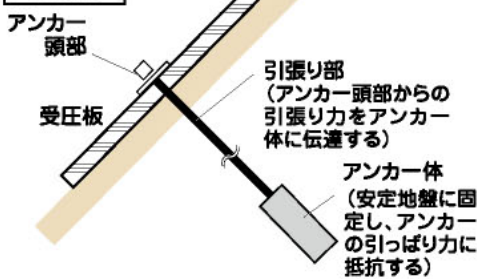
斐伊川放水路(開削部)工事現場で見かける斜面をおおう四角い物体。何のためにあるのでしょうか？



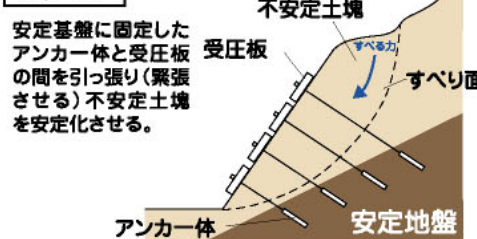
切土斜面を安定させるための「グラウンドアンカー工」という工法です。

これは、小さな穴に高強度の鋼材などの引張り材を挿入し、これを安定地盤に固定させます。鋼材の引張り強さを利用することにより、よりすべる力に対抗しようとする工法です。

基本構造



設置図



タテ

- 斐伊川放水路(開削部)に昨年開通した橋は「大井谷橋」。さて何てよむ? 「○○○○○」
- ヤマタノオロチをモチーフとした「ふれあい放水路」のキャラクターの名前は? 「○○○○」
- 斐伊川・神戸川治水計画3点セットのひとつで神戸川上流に建設されるのは「○○○ダム」(ヒントふれあい放水路150号)
- 神戸川の一番下流の橋の名前は? 「くにびき海岸○○○○」
- 洪水から人やまちを守るために、人工的につくられた水路のことを何とよぶ? 「○○○○○」(ヒントふれあい放水路149号)
- 斐伊川放水路は斐伊川の洪水を「○○○○○」を経由して日本海に流すための放水路だよ。(ヒントふれあい放水路149号)
- 7月7日は何の日? (ヒントふれあい放水路147号) 「○○○○」

ヨコ

- 神戸川の水を十間川に引くために江戸時代に設けられたのは「馬木○○○○○」。(ヒントふれあい放水路151号)
- 神戸堰周辺でみられるシロとクロの模様のかわいい野鳥は「セグロ○○○」(ヒントふれあい放水路153号)
- 斐伊川・神戸川治水計画3点セットのひとつで斐伊川上流に建設されるダムの名前は? 「○○○○○」(ヒントふれあい放水路150号)
- 古志大橋はアーチ橋の中でも「○○○橋」と呼ばれる構造だよ。(ヒントふれあい放水路146号)
- 島根県の県鳥は? 「○○○○○」(ヒントふれあい放水路153号)
- 放水路工事で最初に架け替えられた橋は神門塚橋。この橋が架かっているのは「○○○○川」
- 放水路工事で架け替えられた唯一の人道橋は? 「馬木○○○○○」
- 斐伊川放水路(開削部)の斐伊川からの分流付近にはある「来原○○○」は、高瀬川へと斐伊川の水を取水するための歴史的建造物だよ。(ヒントふれあい放水路152号)
- スサノオ命をモチーフとした「ふれあい放水路」の新しいキャラクターは「○○○くん」

斐伊川放水路に関するクイズに答えて、クロスワードを埋めてね。太枠に入る文字を組み合わせると、新年にまつわるある言葉ができるよ。

1	10		2		
		3			
		4		12	
				11	13
5					
6					
7				8	
9					

答えは来月号を見てね

お正月特別企画 クロスワードパズル
どれだけ知ってる? 「斐伊川放水路」

工事発注情報

- 斐伊川放水路菅沢外用地管理工事 H18.12.8 ~ H19.3.30 (株)浜村建設
- 斐伊川放水路崎屋外用地管理工事 H18.12.9 ~ H19.3.30 大和建设(株)
- 斐伊川放水路大津地区整備工事 H18.12.12 ~ H19.2.28 山陰建設工業(株)
- 斐伊川放水路上来原地区整備工事 H18.12.13 ~ H19.2.28 (株)別所組
- 斐伊川放水路神戸堰第2取付道路工事 H18.12.13 ~ H19.3.30 まるなか建設(株)
- 斐伊川放水路境島小段道路整備外工事 H18.12.14 ~ H19.3.30 日発工業(株)



国土交通省中国地方整備局 出雲河川事務所

〒693-0023 出雲市塩冶有原町5-1 TEL(0853)21-1850 FAX(0853)22-7829

E-mail:izumo@cgr.mlit.go.jp ホームページ <http://www.izumokasen-mlit.go.jp/>